

# LAMP® 上吊式引戸 FD30-H 戸袋対応 デュアルソフトクローザー仕様

## 取付説明書

品番：FD30DHCP-PD

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。  
取付作業前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。  
誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。本書の説明、注意事項を守ってください。  
取り付け後はお使いになる方に本書を渡し、いつでも取り出せるようにしてください。

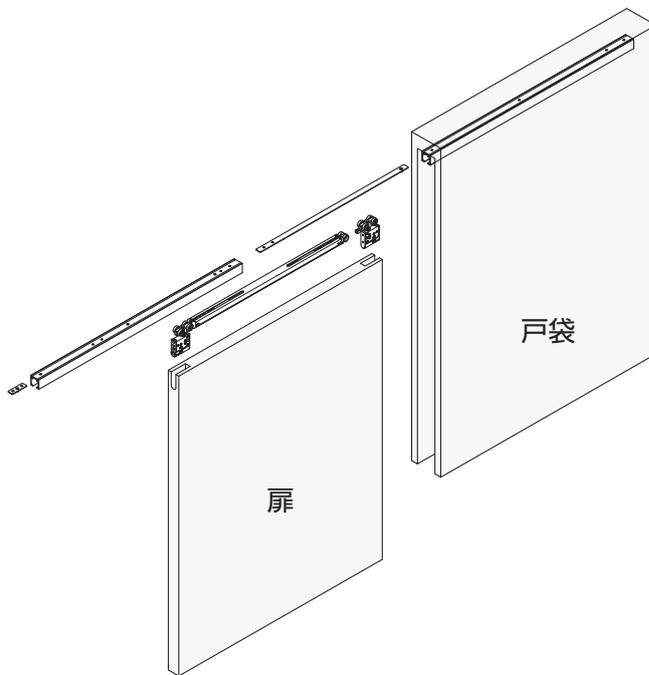
### 本製品について

- 本製品は、一般住宅向けの上吊式の引戸金物です。
- 施工後のメンテナンスがしやすい分割式の上レールを採用しています。

### 仕様

扉幅	590～1000mm
扉厚	30mm以上
扉質量（1枚当り）	30kg以下
扉上下調整範囲	-3～+4mm
左右調整範囲	±2mm

- ・使用場所の室温、操作方法および取り付け状態などにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は5℃～40℃です。
- ・引き込みについては、戸先側は2段階、戸尻側は1段階でゆっくりと引き込みます。



### 正しく安全に取り付けていただくために

- ⊘ 本記号はしてはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。
- ⚠ 本記号は、必ず従っていただく内容(強制、指示)であることを告げるものです。

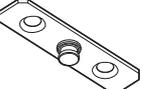
**⚠ 警告** 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ⚠ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。  
また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

**⚠ 注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ⚠ 本製品の取付工事は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行なってください。取り付けに不備があると、本来の性能が発揮できないばかりではなく、破損などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ⚠ 本製品は建具を構成するための部品です。取付終了後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。
- ⚠ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障や性能低下のおそれがあります。
- ⚠ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないように、きれいに取り除いてください。
- ⚠ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとが目安となります。)
- ⚠ 戸袋壁については、メンテナンスの為片側を取り外し可能な構造にしてください。
- ⚠ 取付作業は2人で行ってください。(一人の場合、部材を損傷してしまうおそれがあります。)

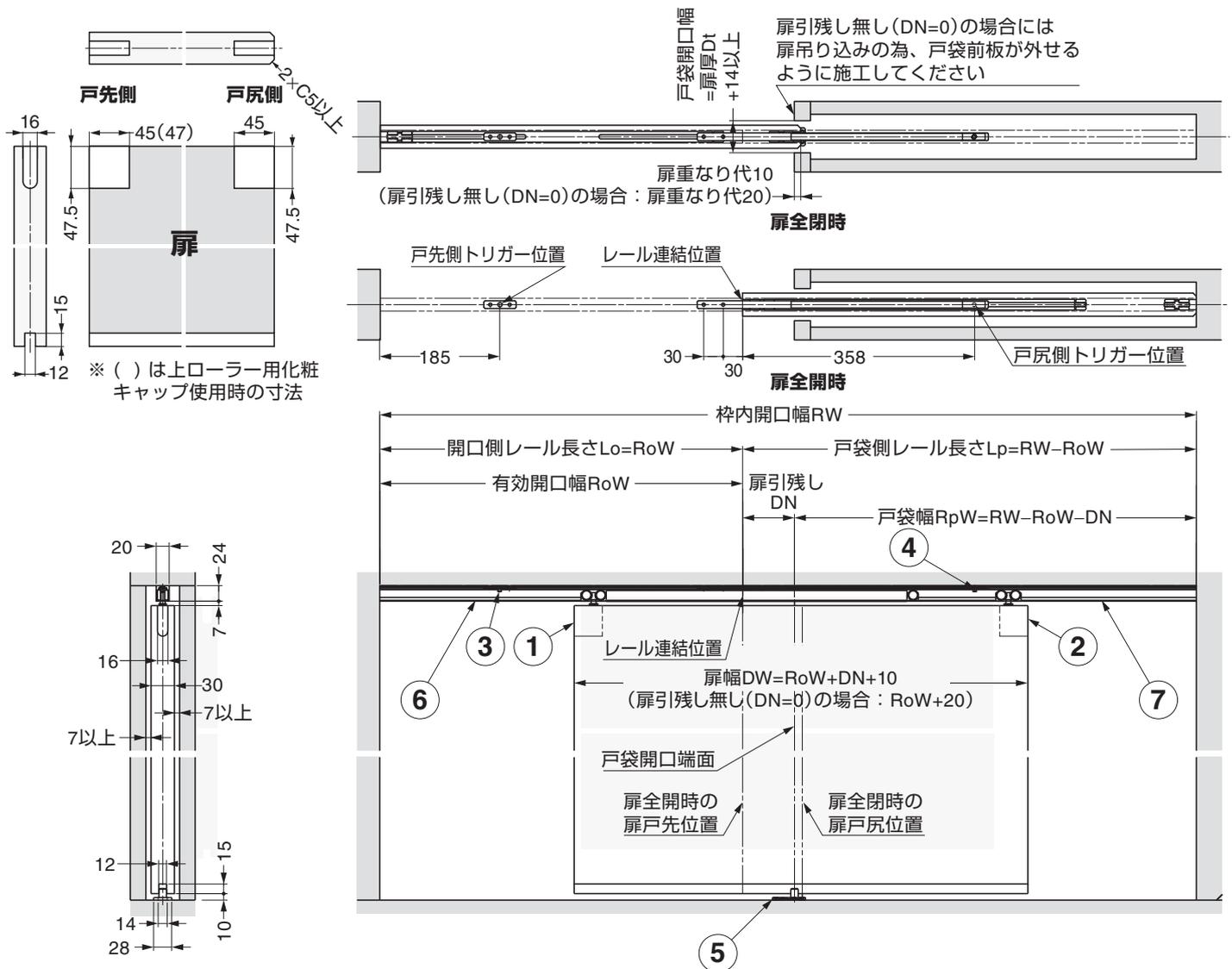
## 構成部品

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	デュアルソフトクローザー	上ローラー(掘込用)	トリガー戸先用	トリガー戸尻用	下ガイド	上レール戸袋対応開口側	上レール戸袋対応戸袋側
単品注文コード	250-026-118	250-020-837	250-029-705	250-029-704	250-017-151	長さ、仕上違いがあります	
品番	FD30-WRH-DSC-A	FD30-WRH-N	FD30-TRGPF	FD30-TRGPB	FD30-HBG	FD30-TRP 型	
戸袋納まり						⑥、⑦は、同じ上レールの切断長さ・穴加工違いになります。加工詳細は、「取付手順Ⅱ」をご覧ください。  1本  1本	
付属品	十字穴付 なべタッピンねじ 3.5×30 3本	十字穴付 なべタッピンねじ 3.5×30 3本	十字穴付 皿タッピンねじ 4.0×30 2本	十字穴付 皿タッピンねじ 4.0×30 2本	十字穴付 皿タッピンねじ 3.5×30 4本	十字穴付皿タッピンねじ 3.5×20 (皿穴数分付属)	

オプションで上ローラー用化粧キャップ、下ガイド、下レールなどがあります。詳細は P.8 をご覧ください。

## 納まり寸法例

この例では、レール連結位置が、全開した扉の戸先端面と一致するように設定しています。  
レール連結位置をこの例より戸尻寄りにする場合、P.9 をご覧ください。



## 使う工具と準備していただくもの

- ・ 十字ねじ回し 2番
- ・ アルミレールの切断工具
- ・ ドリルビット(金属用) φ4
- ・ 皿穴加工ビット(金属用) ※φ7.8用穴加工用

# 取付手順

(本書は、片引きの取付手順について説明しています。)

## 取り付け前の確認

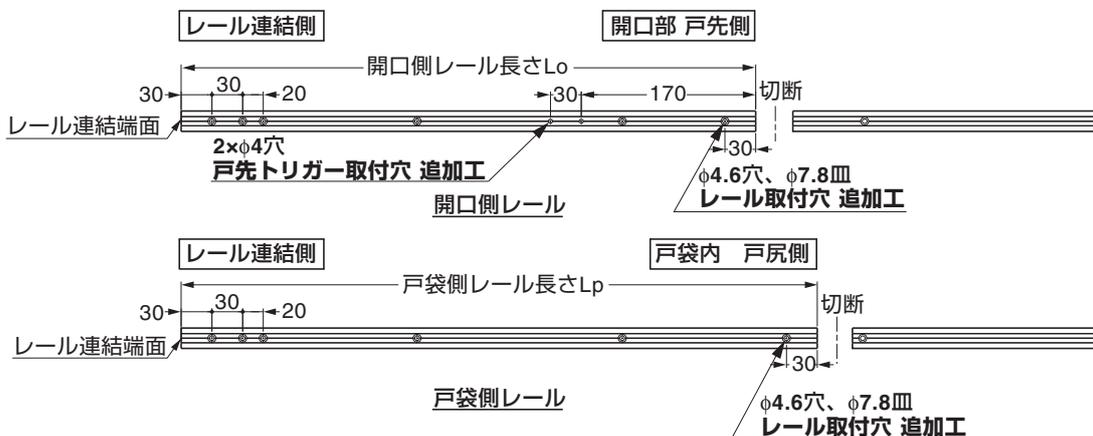
- ・ 枠、床、扉、レールの寸法が正しいこと。
- ・ 枠、床が傾斜していないこと。
- ・ 扉、枠の加工が間違っていないこと。

- ・ 扉に反りが無いこと。
- ・ 部品点数に間違いが無いこと。

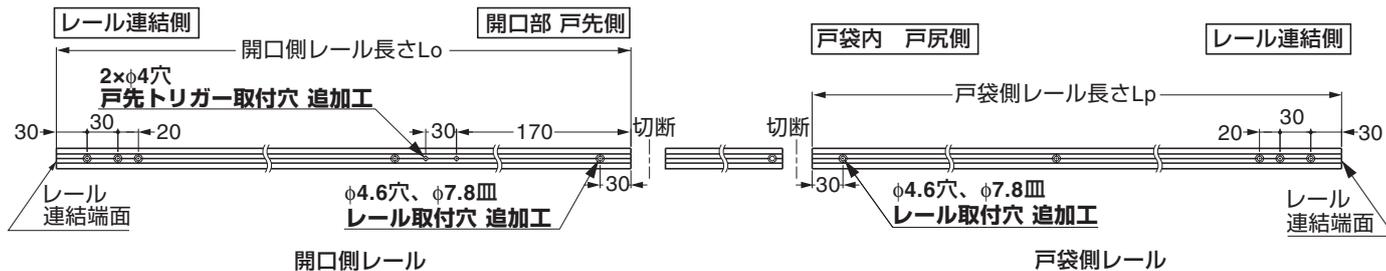
**!** レール内に切り粉などの異物が残っていたり、ローラー、ガイドなどに異物が付着していると、作動時にゴロゴロ音がする原因となります。切り粉などの異物はきれいに取り除いてください。

## 1 レールの切断と穴加工

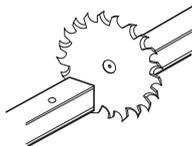
レール長さ860mm、1260mmを各1本使用する場合



レール長さ1860mm、2760mm、3960mm1本から切り出す場合



**!** レールの切断部が変形しないように補強材などを入れて切断してください。



## 2 戸袋側上レールの取り付け

戸袋側上レールを上枠に取り付けます。取り付けは、付属ねじを使用してください。

**!** 上レール内の、ゴミやアルミの切り粉などはきれいに取り除いてください。

皿穴が3つある側が上枠中央向け

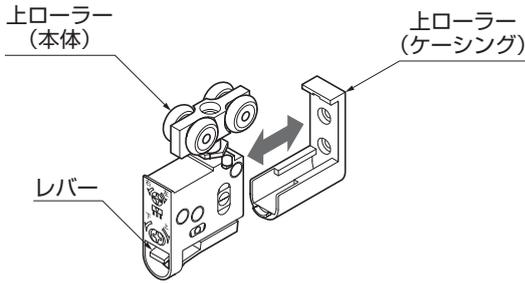
戸袋側上レール

付属ねじ (十字穴付き皿タッピンねじ 3.5×20)

戸袋側上レールを上枠に取り付けた後、戸袋壁を造作してください。

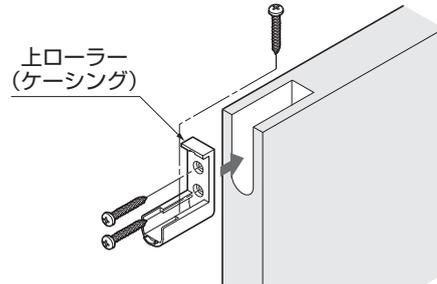
### 3 部品の組み込み準備

レバーを上げ、本体とケーシングに分けてください。

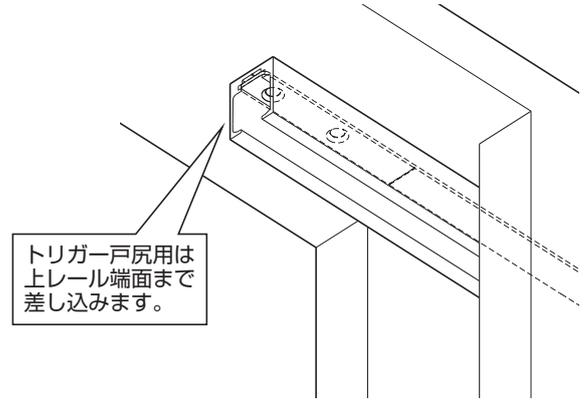
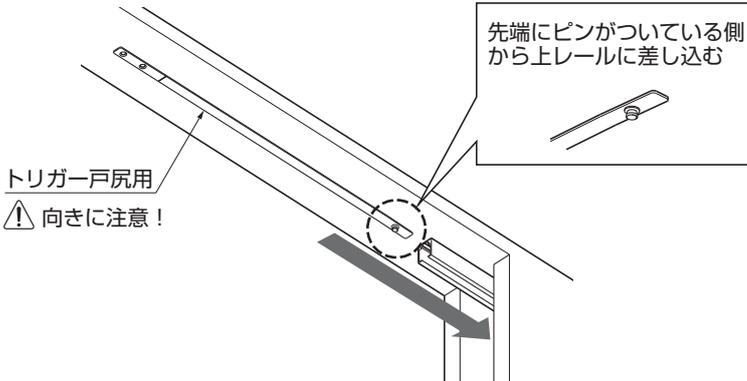


### 4 ケーシングの取り付け

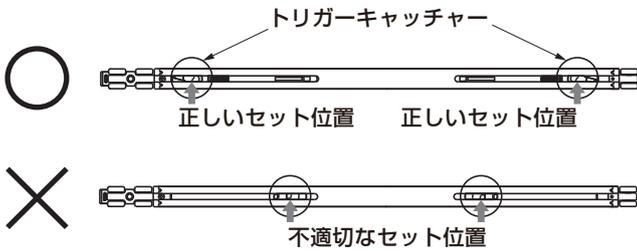
付属ねじを使い確実に固定してください。



### 5 トリガー戸尻用の戸袋側上レールへの挿入



### 6 デュアルクローザーを取り付ける前の確認



**重要!**

動画をご覧ください



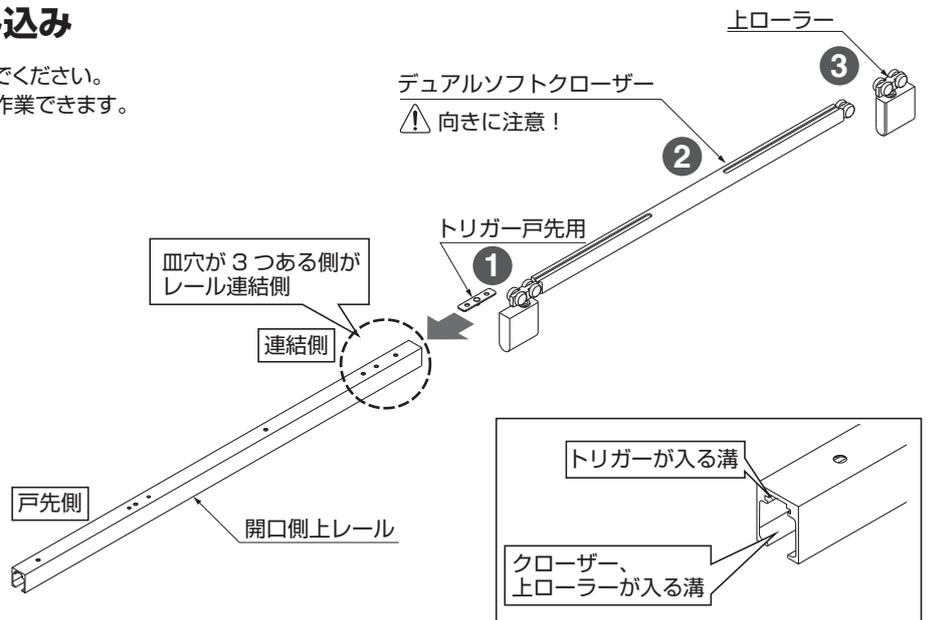
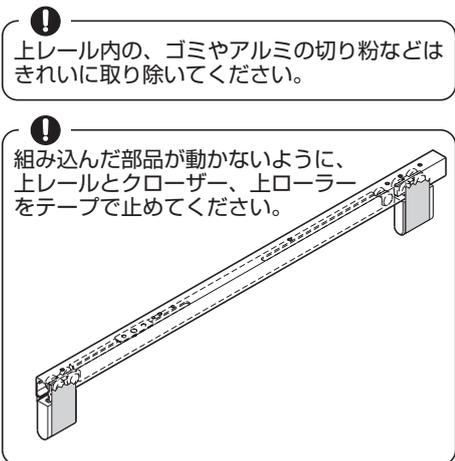
位置が正しくない場合、φ6 の硬い丸棒でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しいセット位置に戻してください。



⚠ 確認しないで取り付けした場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。

### 7 開口側上レールへの部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①～③の順番で組み込んでください。後加工していない連結側から挿入するとスムーズに作業できます。

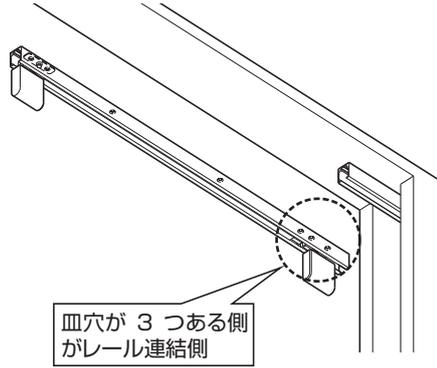


## 8 開口側上レールの取り付け

開口側上レールを上枠にセットします。

開口側上レールと、戸袋側上レールの端部の位置を合わせます。

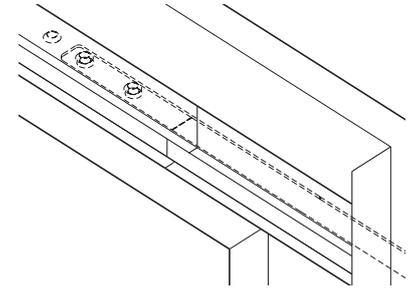
戸袋側上レール内のトリガー戸尻用の位置をずらして、開口側上レール内に挿入します。



皿穴が 3 つある側がレール連結側

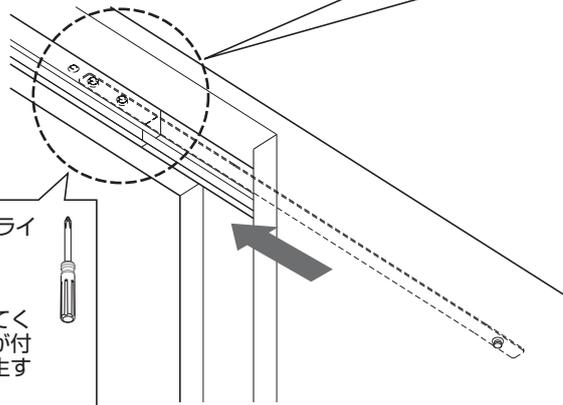
トリガー戸尻用の皿穴 2ヶ所と、開口側上レールの端部の皿穴 2ヶ所の穴位置を合わせてください。

⚠ 継ぎ目がずれていると、トリガーの挿入が難しくなります。

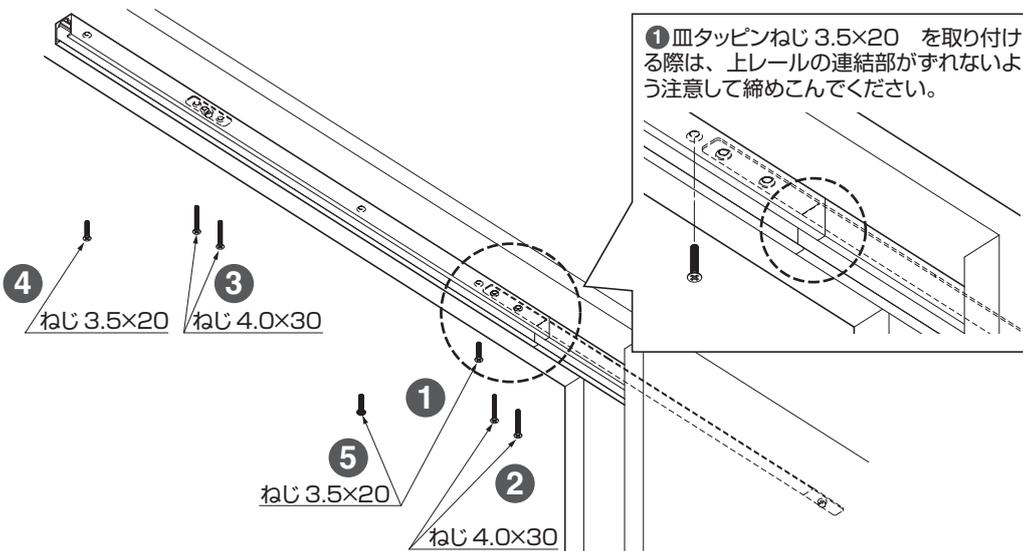


トリガー戸尻用の位置をずらす際はドライバーなどを使用してください。

⚠ ドライバーが不意に穴から外れ、レールを傷付けないよう注意してください。レールの内側下部に傷が付くとローラー走行時に異音が発生することがあります。

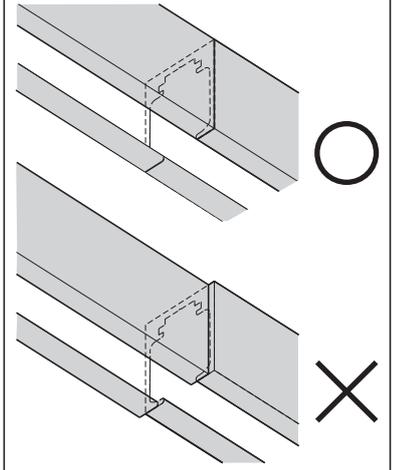


開口側上レールとトリガーを上枠に取り付けます。取り付けは、付属ねじを使用し、①～⑤の順番でねじを締めこんでください。

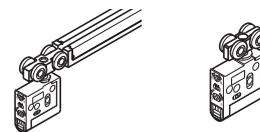


① 皿タッピンねじ 3.5×20 を取り付ける際は、上レールの連結部がずれないように注意して締めこんでください。

⚠ 上レールの継ぎ目がずれないように、また段差ができないよう、ねじをしっかりと締めてください。



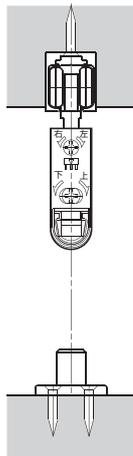
⚠ ねじの締めこみの際に、クローザーや上ローラーが邪魔になる場合は、上レール内でずらして作業してください。



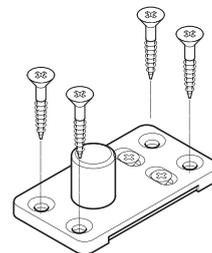
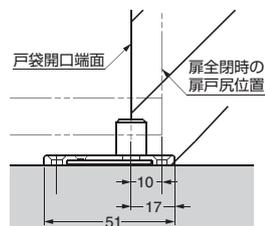
① レール連結後、ローラーを動かして連結部の段差やすきまで動きに支障がないか確認してください。

## 9 下ガイドの取り付け

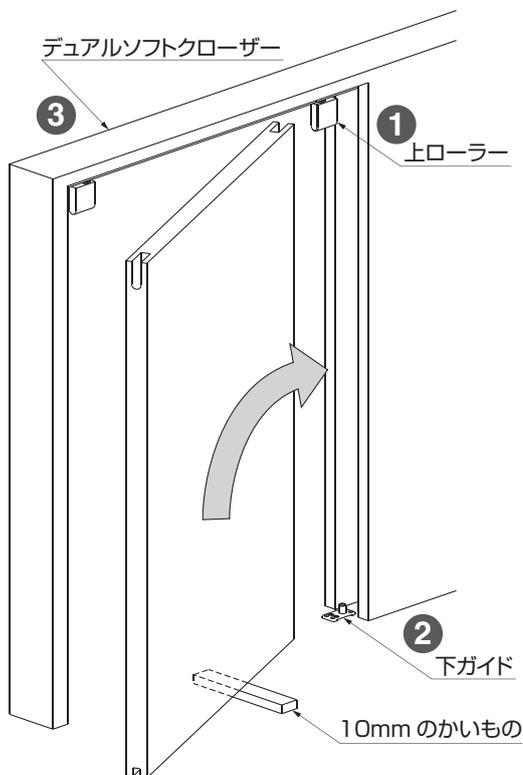
上レール中心から鉛直に下ろした位置に、下ガイドの中心を合わせてください。  
下ガイドの凸部が図の位置となるよう調整し、付属のねじで取り付けてください。



⚠ 図は扉の引き残しがある場合の取付位置を示します。

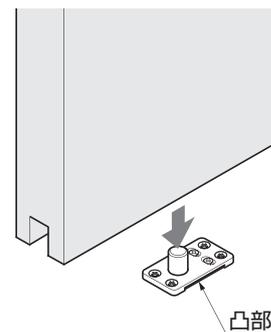
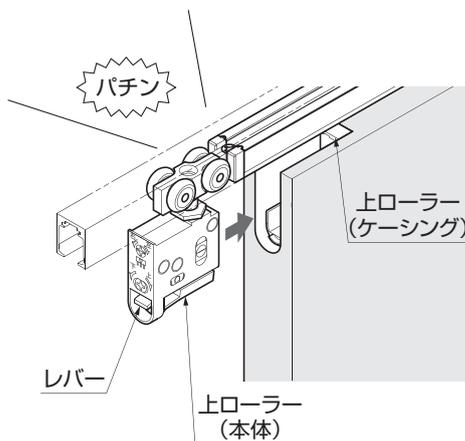


## 10 扉の吊り込み



クリック音がするまで差し込んでください。

下ガイドの凸部に扉下の溝をはめ込んでください。

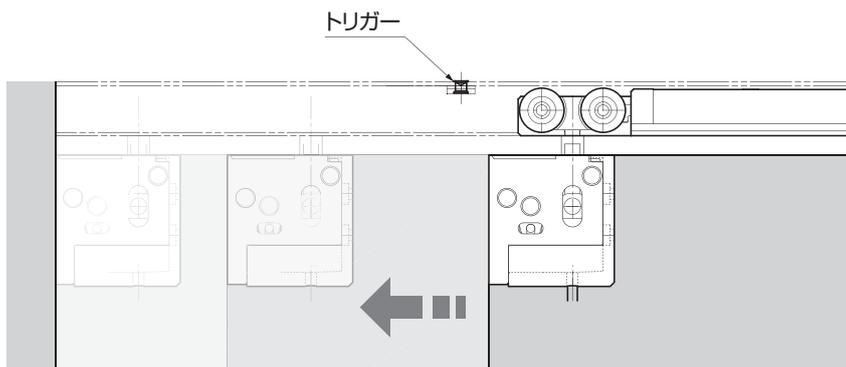


⚠ 上ローラー ( 本体 ) がケーシングから外れないか確認してください。(戸先、戸尻の両側)

## 11 引戸クローザーの動作確認

扉の下から10mmのかいものを外してください。  
扉を戸先側にゆっくり動かし、引戸クローザーがトリガーに当たり扉を閉じる事を確認してください。  
閉じ始め位置は戸先側が縦枠の約100mm手前、戸尻側が約50mm手前です。  
クローザーが正しく機能していない場合は、次ページの「困ったときの対応」をご覧ください。

⊘ 乱暴に扉を閉めないでください。ソフトクローズ機構が機能しなかったり、破損の原因となります。

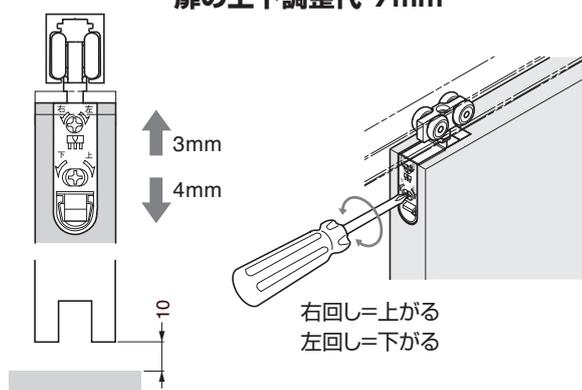


## 12 扉の位置調整

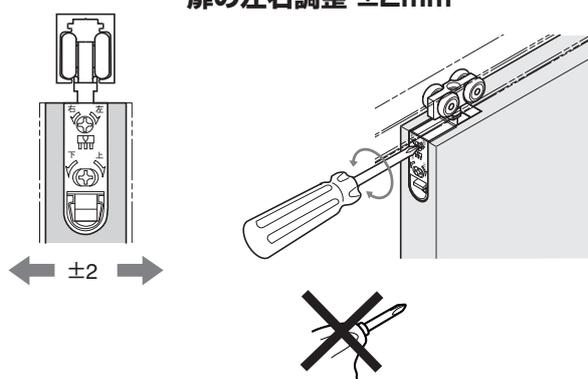
扉が上レールと平行で床面とのすき間が 10mm になるように調整して下さい。



扉の上下調整代 7mm



扉の左右調整 ±2mm

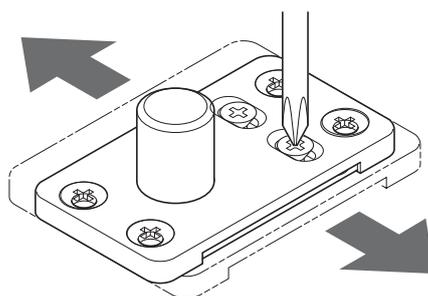


調整ねじは、調整範囲以上に回さないでください。破損の原因となります。

調整ねじは、電動ドライバーで調整しないでください。破損の原因となります。

## 13 下ガイドの調整 (調整代 ±2mm)

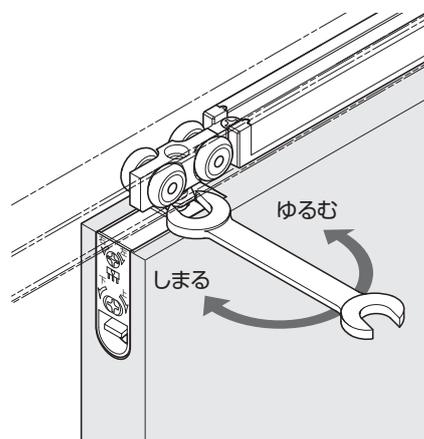
扉をゆっくり開閉してください。  
扉の動きに引っ掛かり感があれば、下ガイドと扉の左右調整をしてください。



## 14 跳ね上がり防止ナットの固定

デュアルソフトクローザーと上ローラーの跳ね上がり防止ナットを本体に接触するまでスパナ 12 で締め付けてください。

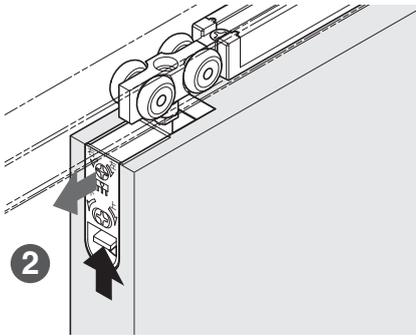
**重要!**



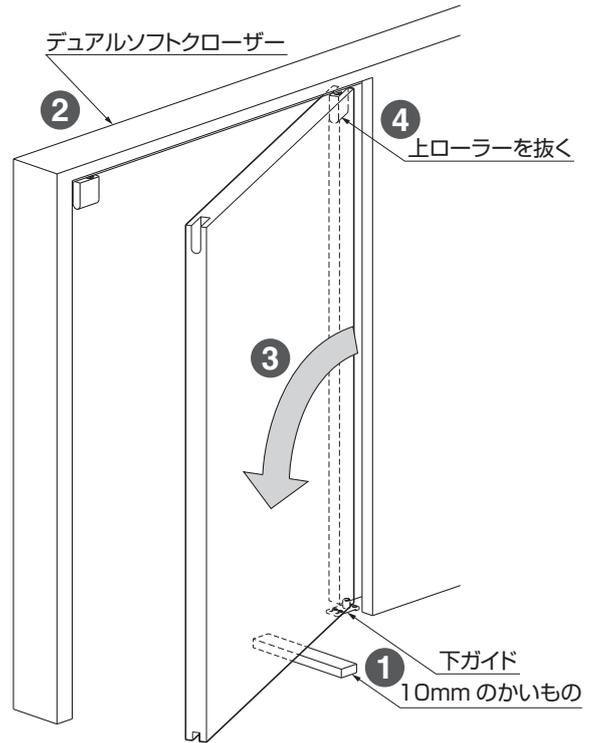
## 補足 1 扉、上レールの外し方

### 【1】扉の外し方

- ① 扉の下に 10mm のかいものをはさんでください。
- ② 上ローラー（本体）のレバー部を上を持ち上げたまま、上ローラー（本体）をケーシングから引き抜いてください。
- ③ 扉を戸袋にこすらないよう注意しながら、引き出してください。
- ④ 戸尻側のローラーをケーシングから引き抜いてください。



⚠ 扉が倒れないように注意してください。

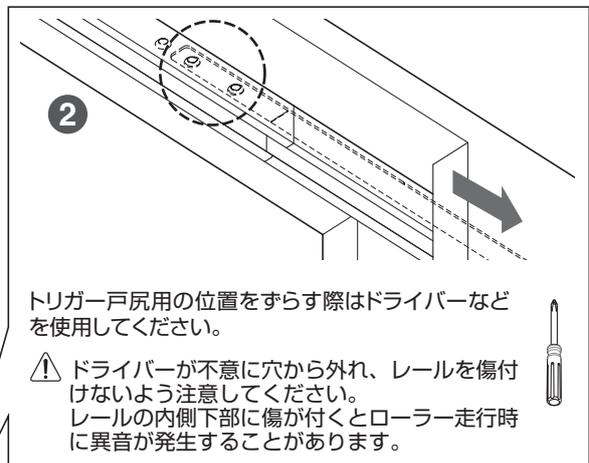
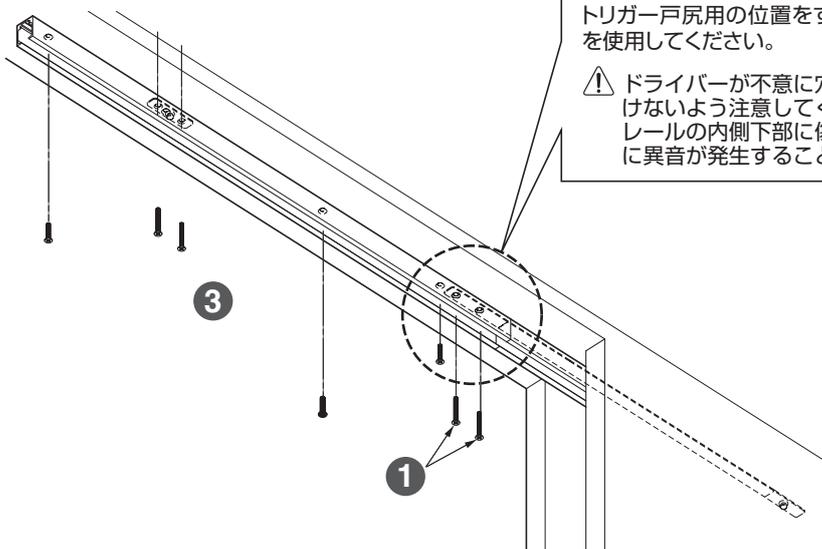


### 【2】上レールの外し方

- ① トリガー戸尻用のねじを外してください。
- ② トリガー戸尻用をスライドさせて、戸袋側レールに収めてください。
- ③ 開口側レールを外してください。

⚠ トリガー戸尻用をスライドせずに開口側レールを外そうとすると、トリガーが変形してしまいます。

最後のねじをゆるめる際は、必ず手で支えてください。

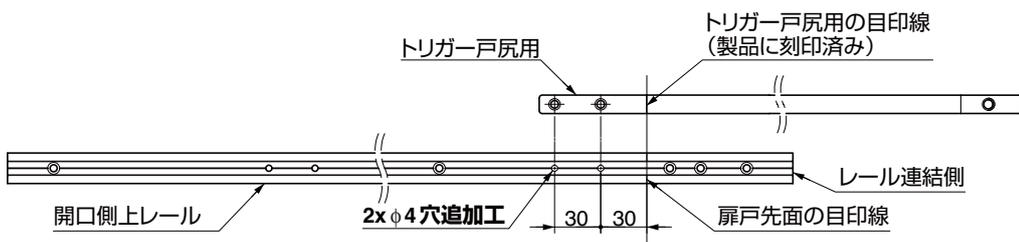


## 補足2 レール連結位置を変えたい場合

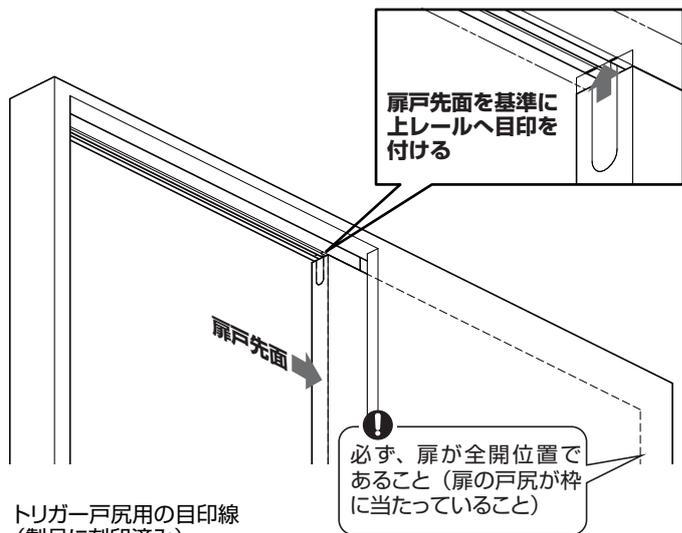
連結位置を、納まり寸法例 (P.2) より戸尻寄りに設定できます。  
 その場合、トリガー戸尻用 (以下トリガー) の取付位置の変更が必要です。

### 【1】 現物合わせでトリガー位置を決める方法

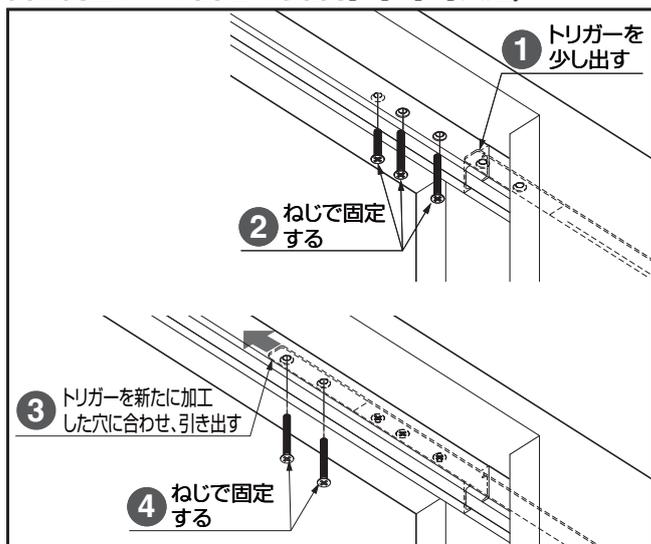
- (1) 扉全開時の戸先面を基準に、上レールに目印線を引きます。  
 (あとが残らないよう、養生テープなどを貼り、その上に目印をつけてください。)
- (2) 上レールにトリガー取付穴を追加します。  
 「補足1【1】扉の外し方」の手順に従って扉を外し、開口側の  
 上レールを外してください。
- ・ 開口側のレールにトリガー取付穴を追加します。  
 穴加工位置は上記【1】の(1)で付けた扉戸先面の目印線と下  
 図の寸法で行います。



- (3) 上レールの取り付け  
 作業の順番は右図の通りです。通常の手順と異なるので注意  
 してください。
- (4) 扉の吊り込み  
 P.3 手順②以降にしたがって、再び扉を吊り込みます。



### 開口側上レール固定の順番 (【1】、【2】共通)

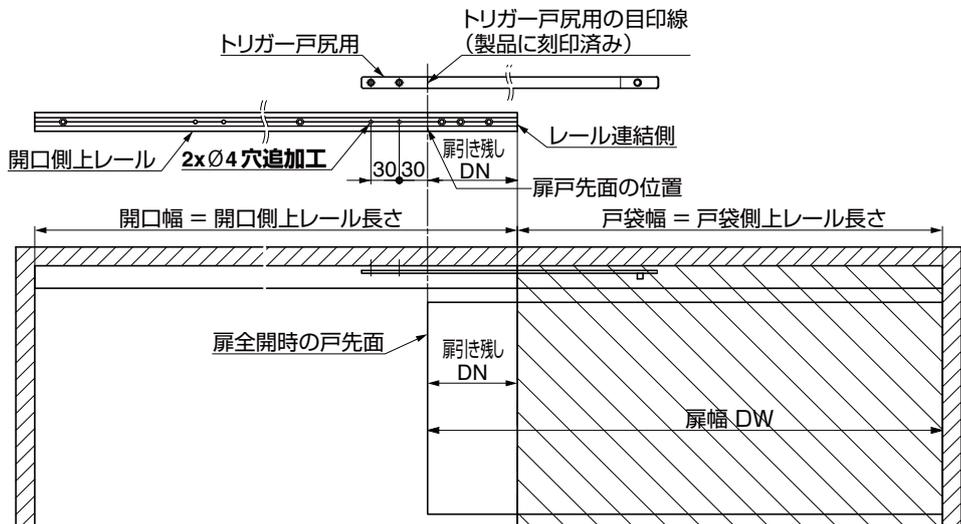


### 【2】 あらかじめ開口側レールにトリガー取付穴を加工する方法

戸袋側上レール長さ=戸袋幅で引き残しがある場合の例

開口側上レールのトリガー戸尻用取付穴を下図の通り、寸法確認のうえ、追加します。

レール取付作業の順番は、右上の図の通りです。  
 通常の手順と異なるので注意してください。



取り付け後の確認 ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。

